

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員

青山 真虎	桜井 洋子
杉野 直樹	佐野 義晴
横田川 真人	仲田 裕子
山本 孝夫	大石 節雄
森 伸一	紅林 貢
伊藤 孝	福田 正男
清水 唯史	八木 伸雄
村田 千鶴子	藤本 善男
曾根 嘉明	平松 吉祝

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成29年 2月 6日（月）  
午後 3時 00分～午後 5時 15分
- 2 会場 島田商工会議所 大会議室
- 3 参加者数 19 人（男性 18人、女性 1人）
- 4 役割
  - (1) 司会 仲田副議長
  - (2) 挨拶（概要） 曾根議長
  - (3) 記録 桜井議運副委員長

## 5 報告事項

### (1) 商工会議所活動報告について

(佐久間専務理事より)

島田商工会議所の概要説明～パンフ「島田商工会議所：入会のすすめ」にそって説明があった。

- ・ 商工会議所は、地域の企業が協力し合い、地域経済の基盤づくりと企業経営しやすい環境づくりを推進する総合経済団体。全国に515ある会員組織。
- ・ 組織体制（S26発足し66年目を迎える。会員1,670名。議員80名を選出。8委員会、会員は7つの部会に所属、青年部、女性部。事務局15名。ほか）
- ・ 活動内容
  - ① 企業経営をサポート（マル経資金では・・・小規模事業者に無担保・無保証人で融資額2千万円以内、昨年度実績40件1億2,300万円程度の利用）
  - ② 情報収集・情報発信をサポート（各種証明書の発行、会議所ニュースの発行等）
  - ③ 人づくりをサポート（共済制度、セミナー、従業員のスキルアップ等）
  - ④ まちづくりをサポート（中心市街地活性化、ロケ支援フィルムサポート、観光振興等）
  - ⑤ 異業種・同業種をサポート（部会、委員会、青年部、女性部活動）
  - ⑥ スタッフ部門をサポート（労働保険事務組合等）

(坂田事務局長より)

島田商工会議所が平成28年9月30日に市長に提出した「平成29年度 市行政に関する要望書」の19項目（継続15件、復活1件、新規3件）について、資料も参考にしながら詳しい内容の説明があった。・・・別紙参照

<要望の中での特筆すべき点>

- ・ 「まちづくりや地域コミュニティ形成を促進させる条例」案を商工会議所が提案して、市に条例制定を要望。
- ・ 住宅リフォーム奨励金の復活と県のエコマイハウス支援事業を受けるために市の事業の創設を要望。
- ・ 小規模事業者経営改善資金（マルケイ資金）の市独自の利子補給実施の要望（島田市以外近隣の静岡市、焼津市、藤枝市、牧之原市、富士市、吉田町、川根本町で実施）
- ・ 復活＝市道谷道線の拡幅と歩道の整備等についての要望
- ・ 新規＝用途地域の見直し  
定住促進を図るための利子補給金の創設  
事業所向けの地震対策補助制度の創設 についての要望

\*「平成29年度 市行政に関する要望書」の市長からの回答は、2月20日に予定されている。

(2) 意見及び情報の交換について

(市民病院の医師確保について)

Q、どこの病院も医師不足である。大学系が違っていると連携は難しいと思うが、すべての診療科がある病院は無理なので、3市（藤枝、焼津と）で連携し補うことが必要ではないか。

A、何もかもは難しい。得意なところをもって、連携できる。

A、小児科は県立子ども病院へ紹介するなど、各病院間で紹介し合うことが行われている。

A、医療機器や建物を新しくして、医師が確保できるとは限らない。島田市が（医師、看護師にとって）1市民として、住みよいまちでないとならない。そうした面から、市の施策や商工会議所のまちづくりへの取り組みが大事となる。議会もがんばりたい。

A、島田市内の高校から医学部を受験する生徒が少ない。

(新市民病院の建て替えについて)

Q、現地建て替えは4年前第三者委員会で適当と決まったと聞いた。現地は川土が滞積した所だ。道はどうか。工事で重機が入るが、駐車場の確保の問題、また建設費247億円についてはどうか。

A、議会では、基本設計に様々な意見は出ている。3月に基本設計の見積もりが示される。建設費については「コスト削減が見込まれる」と新聞報道されたが、市からの説明は不十分。

A、当局は「建設地の地盤対策では、杭を打って、建設できる。駐車場の確保もできる。」というが、各議員は様々な議論してきた。

A、今は病院建設に対して、いかに低コストで、市民にとって使いやすく、安全安心な病院づくりのための議論をしている。

(保育園の待機児童対策について)

Q、民間幼稚園が定員割れして大変厳しい状況がある。一方、保育園は待機児童が出ている。市の子育て支援、待機児童対策に議会はどう対応しているか。

A、議員は一般質問や厚生教育常任委員会でこの問題を取り上げて議論してきた。動きとしては、来年度向谷に民間保育園（0～2歳児）ができる。また、幼稚園は保育園部をつくる認定こども園化の方向である。市内で幼稚園児と保育園児が同数になってきている。

A、六合に民間が保育園をつくらうと計画した場所は、公民館の駐車場（市が敷地の一部を無償貸与）で、駐車台数が減ることが問題になっている。

A、保育士不足もある。人材バンクや再就職できる環境づくりのサポートが必要である。保育士になるための進路指導も。

Q、幼稚園の理事をやっているが、認定こども園にするために幼・保の免許取得が必要。子どもの月謝は上げられないが、保育士の給与は上げなければならないとなると、条件整備に園の経営が大変厳しい状況である。

A、幼稚園の置かれている厳しい現状は理解できる。全幼稚園の定員 2,070 名に対して、実際の人数は 1,425 名と聞いている。保育園建設ありきではなく、現幼稚園の活用等検討していくべきではないか。

(中心市街地の活性化について)

議会への要請

“「静岡県商店街振興および活性化条例」を受けて、地元商店街が地域経済の発展および地域のコミュニティの維持・強化に果す役割の大きさを十分認識していただき、島田市でも、まちづくりや地域コミュニティ形成を促進させる条例の制定に向け、議会の協力をお願いしたい。”と要請された。

(3) 市等への要望事項

・「平成 29 年度 市行政に関する要望書」の 19 項目

\* 市からの回答は、2 月 20 に予定されている。

・「商工会」と「商工会議所」の市の補助金の格差に見直しを求める。

6 まとめ(所見)

「初めての意見交換会であるが、もっと早くやるべきだった。」との商工会議所会頭のことばにあるように、議員全員で意見交換の機会が持て有意義だった。

新市民病院の建設問題や少子化に直面している幼稚園・保育園のあり方についても意見交換ができた。

また、毎年提出している要望書の内容の説明もあり、議会としてもこれらを受け止め、各常任委員会で議員間討議にかけ、政策提言につなげるよう議論していくことが求められている。